

キャリア形成支援センター

活動報告

I. キャリア形成支援センター概要

キャリア形成支援センターは、全学的なキャリア形成支援体制のもとで、キャリア教育及びインターンシップを含めたキャリア形成・就職支援を充実・推進し、学生の多様なキャリア形成を支援することを目的とし、令和2年4月1日に設置された。

1. 主な業務内容

- キャリア教育の研究開発・実施
- キャリア・就職支援の企画立案・実施
- インターンシップの企画立案・実施
- 鹿児島大学地域人材育成プラットフォーム
(かごしまキャリア教育プログラム)の運営及び実施
- 学生(卒業生及び中途退学者を含む)へのキャリア・就職に係る指導助言
- キャリア教育やキャリア・就職支援、インターンシップ等に関する調査・分析及び報告
- 求人その他の就職及びインターンシップ情報の収集・提供
- 「大学地域コンソーシアム鹿児島」の「地域連携・就業部会」の運営



2. 運営体制



II. 令和3年度の主な活動内容

1. キャリア教育

(1) 地域人材育成プラットフォーム「かごしまキャリア教育プログラム」

キャリア形成支援センターは、総合教育機構が運営する「地域人材育成プラットフォーム」の「かごしまキャリア教育プログラム」を担当しており、本センターの教員が中心になってキャリア教育プログラムワーキンググループ(以下「キャリアPWG」)を運営している。「かごしまキャリア教育プログラム」は、学部(研究科を含む)では実施困難な全学部の学生を対象とする学部横断的な教育であり、体系的なキャリア教育プログラムとして1学年から3学年までの一連の連続した教育システムであるとともに、課題解決型学習(PBL)のインターンシップを組み込んだキャリア教育としてトータルにデザインされている。地域企業の課題解決型学習(PBL)という、ハイレベルなインターンシップへと到達できるのは、初年次から積み上げた知識と能力とに支えられているところが大きい。

上記の「キャリアPWG」における検討事項は次のとおりである。

●「地域人材育成プラットフォーム」の「かごしまキャリア教育プログラム」の開発及び実施・運営

キャリアPWGの検討対象となる科目は、「キャリアデザイン（前期）」「キャリアデザイン（後期）」「社会人基礎力演習（前期）」「社会人基礎力演習（後期）」「地域キャリア・インターンシップ事前演習」「地域キャリア・インターンシップ」「地域キャリア修了演習」である。今年度は、「かごしまキャリア教育プログラム」のこれまでの履修パターンやヒアリング結果を分析し、履修要件についての議論が中心となった。「かごしまキャリア教育プログラム」は、インターディシプリナリーな全学教育を標榜することから所属学部以外の「就業力科目」の修得が必須であるが、共通教育センター教員の協力を得てキャリア系「学際的科目」の開発を検討した。履修要件については「地域人材育成プラットフォーム」科目の学年指定の柔軟化を検討する議論が主となった。「かごしまキャリア教育プログラム」の特性が明確になってきたことや、時代の変化の中で現行の履修要件だけでは対応できなくなっていることから、「地域人材育成プラットフォーム」総体とも関わる履修要件の議論を進めた。

また、各科目においてもさまざまな改善が試みられている。「キャリアデザイン（前期）・（後期）」では、男女共同参画社会構築やSDGsについてのコンテンツを追加するため学部の協力を得て、鹿児島県内企業や自治体からゲストを招き、地域人材育成のためのコンテンツを拡充した。さらに、キャリア意識の啓発や行動力の強化を狙いとして、キャリア形成支援センター主催のキャリア系イベントに低学年次から参加できるように有機的な連関をもたせた。「社会人基礎力演習（前期）・（後期）」では、学生をファシリテーターへと成長させるために諸種のインストラクションを改善した。このためアクティブ・ラーニングとして独自の進化を遂げている。「地域キャリア・インターンシップ事前演習」「地域キャリア・インターンシップ」「地域キャリア修了演習」は、総合教育機構所属の教員の協力を得て、きめ細やかな指導を堅持している。加えて、共通教育センターの初年次セミナーに対し、キャリア教育の要素を含んだ教育コンテンツの提供をおこなった。以上の科目を運営・実施するために、総合教育機構内の共通教育センター、高等教育研究開発センターなどとの連携協力体制の構築に努めた。

●学部（研究科含む）におけるキャリア教育及びインターンシップの実施状況の把握について

キャリア形成支援センターでは、学部（研究科を含む）におけるキャリア教育及びインターンシップの実施状況や教育内容についての把握に努めており、キャリア教育については、各学部（研究科を含む）のシラバスレベルでの把握が可能である。インターンシップについては、正課科目として実施しているインターンシップ関連科目や各種実習の参加者数を各学部・研究科より収集し、データベース化している。しかし、キャリア教育の要素を併せ持った科目の把握や、学生が個人で申し込む公募型インターンシップの参加状況となると、データに不足があることは否めない。そこで、令和3年度には、インターンシップの参加状況に関する悉皆調査に向けた準備として、内定調査の際に実施することを想定したアンケート様式を作成した（本格的な運用開始は令和4年度予定）。さらに、全体像をつかむためのリソースや、データを収集する枠組み、あるいはシステムについての議論を重ねた結果、学生の著作物や活動成果を蓄積したポートフォリオに、インターンシップ経験やキャリア教育の履修実績を追加し、その結果を効果的に出力できるシステムの構築に期待が集まった。すでに存在するLMSとの連携もあり、全学的な教育システムとなることが想定されるため、今後検討が進められる中で、キャリア形成支援センターも必要に応じて議論に参加していく予定である。

(2) 正課外のキャリア支援イベントと連携した低学年からのキャリア形成

全学年対象の正課外キャリア支援イベントを「かごしまキャリア教育プログラム」のスタートアップ科目である「キャリアデザイン」の授業の一部に組み入れ、あるいは授業の中で教員から参加を促しており、以下の表に示すとおり、低学年次生の延べ参加者数は、令和2年度を下回ったものの、キャリア形成支援センター設置前の令和元年度の約2倍に相当する。

全学年対象の主なキャリア支援イベント	低学年の参加者数（名）		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
Web インターンシップ合同企業説明会	24	126	203
中小企業の魅力発見講座	11	16	21
卒業生によるキャリア支援セミナー（1回）	29	98	93
進路ガイダンス	45	49	26
Web 業界研究フェア（県内企業・団体）	123	191	69
Web 業界研究フェア（県外企業・団体）		204	57
合 計	232	684	469

2. キャリア・就職支援

令和3年度のキャリア形成支援センターによるキャリア・就職支援の取組みの一覧と学生の参加状況等については、表1（令和3年度キャリア形成支援センター事業実施状況：P45）のとおりである。本節では、就職・キャリア支援イベントの開催、就職・進路相談、求人情報の提供、学内外への広報について概要を報告する。

(1) 就職・キャリア支援イベント

●ガイダンス・支援講座等

学部3年生・大学院1年生を対象に、年間7回の就職ガイダンスと5回の少人数・実践的な就職支援講座を開催した。新たな取り組みとしては、参加学生が年々増加しているインターンシップの選考対策や、インターンシップで組み込まれることが多いオンラインでのグループワークの実践講座を企画・実施した。

また、学部4年生・大学院2年生を対象とした2回の就活応援講座と個別進路相談会、学部1、2年生対象の進路ガイダンスを開催した。

なお、新型コロナウイルス感染状況に合わせ、前年度より対面での開催を若干増やしたが、ガイダンスや支援講座への参加学生数は対面・オンライン開催併せて7,215人となり、前年度の約1.5倍に増加した。



●企業セミナー（説明会）等

新型コロナ下での就職・採用活動も2年目となり、学内個別企業説明会も感染予防対策を講じた上で対面開催するか、感染状況によってはオンラインで開催するなど、柔軟に対応できるようになった。その結果、オンライン形式も含めた合同・個別の企業セミナー（説明会）や業界・職種研究セミナー、中小企業の社長を招いての交流イベント等への延べ参加社数は585社、参加学生数は2,713人で、いずれも前年度を上回った。

【全学年対象】

- ・ Web インターンシップ合同企業説明会
- ・ 28回の業界・職種研究セミナー
- ・ 6社の県内企業の社長を招いての中小企業の魅力発見講座
- ・ 3回の Web 業界研究フェア

【学部3年・大学院1年対象】

- ・ 2日間の講義形式の学内個別企業セミナーフェア
- ・ 南九州・西日本地区の国立大学生対象 Web 合同企業説明会

【学部4年・大学院2年対象】

- ・ 年間随時開催の学内個別企業説明会
- ・ 県外企業による Web 合同企業説明会
- ・ 県内企業によるブース形式の学内合同企業説明会
- ・ 3大学限定／8大学限定 Web 合同企業説明会



●卒業生による就職・キャリア支援セミナー

大手企業等に勤務する若手卒業生4人による就職支援セミナーに加え、同窓会連合会の協力で、多彩な分野で活躍する卒業生6人によるキャリア支援セミナー「きばいやんせ、鹿大生2021！」も完全オンライン方式にて開催した。毎年開催しているこのキャリア支援セミナーは、共通教育科目「キャリアデザイン」と連携しており、受講生を含めて93人が参加した。



(2) 就職・進路相談 (表2参照：P46)

本学の法文学部OBである以下の就職相談員に加え、ハローワークの就職ナビゲーター2人の計3人が、学期中はほぼ毎日学生の就職や進路に関する相談に対応している。

年明けからの大学入試前の時期など、対面での個別相談を中止し、オンラインやメール、電話等に対応した時期もあったが、年間の相談件数は前年度より3割増となった。

【就職相談員】原口一陽氏（前株南日本新聞社 東京支社次長 兼 営業部長）

(3) 求人情報の提供 (表3参照：P47)

令和3年度にキャリア形成支援センターで受け付けた求人件数は表3のとおりである。センターに届いた全国からの求人は、求人検索システムのデータベースに入力し、学内外から学生や卒業生が求人情報を検索できるようにしている。さらに、求職登録している最終学年次生や卒業生には、希望条件に近い求人が届いた場合、その日のうちに自動メールが送付される（求職登録制度）。令和3年度にこの求職登録制度を利用した在学生及び卒業生は合計130人であった。また、センターで受け付けた求人票は、対象学部コピー等を送付するとともに、県内・県外に分け、さらに業種別・五十音別にファイリングして、入室した学生が閲覧できるようにしている。

なお、求人件数はコロナ前から減少傾向にあり、昨年度センターで受け付けた求人件数が

前年度より約3%減少した要因としては、新型コロナの影響というより、採用活動の早期化が進み、求人情報が公開される3年生の3月より前のインターンシップやその他の早期イベントからの採用が増えた影響が大きいと思われる。

(4) 学内外への広報

キャリア形成支援センターから昨年度発行した定期刊行物は以下のとおりである。

発行時期	名称	形態	配布対象・方法等
6月中旬頃	就職支援ガイドブック	冊子 電子ブック	学部3年生・大学院1年生に学部やセンターで配布
2月上旬	求人のための大学紹介	冊子	全国の企業・団体約1,100社に郵送
4月上旬	キャリア形成支援センター案内リーフレット	三折リーフレット	入学式の配布物として新入生や保護者に配布し、センターと各学部の就職支援室等に設置 県内高校長との教育懇話会でも配布
毎月1回	キャリア形成支援センターからのお知らせ	A4サイズ 1枚	センターに設置するとともに各学部で掲示 就職ガイダンス等でも配布

以上のほか、入試広報用の「受験生のための大学案内」や、広報センター発行の保護者向け「鹿大だより」と大学概要、学生生活課が発行している学生便覧に毎年原稿を提出しており、報道機関の取材にも随時対応している。



(5) オンライン就職活動へのハード面の支援

新型コロナ下で浸透してきたオンラインでの企業説明会や採用面接、内定式（内定者懇談会）、大学院入試面接などに利用できる専用個室ブースを設置し、10月から利用を開始したところ、3月までに学部・大学院生延べ104人が利用するなど好評であった。



表1

令和3年度キャリア形成支援センター事業実施状況

R4.3.31 現在

月 日	事 業	参加状況	(前年度)
【ガイダンス・支援講座/就活応援講座】			
1月5日	・進路ガイダンス	学生 26人	(49)
4月21日	・第1回就職ガイダンス (WEB) 「就活スタートアップ～就活の流れを掴もう～」	学生2702人	(3226)
4月28日	・第2回就職ガイダンス「インターンシップ活用法と業界・企業研究」(WEB)	学生260人	(843)
5月19日	・第3回就職ガイダンス「インターンシップ選考対策」(WEB)	学生1082人	(-)
10月6日	・第4回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」(WEB) ①人事院九州事務局②九州財務局③熊本国税局④鹿児島労働局⑤鹿児島地方・家庭裁判所	学生 628人	(100)
12月1日	・第5回就職ガイダンス「エントリーシート対策」	学生84人	(70)
12月15日	・第6回就職ガイダンス「面接対策&就活ストレス対処法」	学生51人	(45)
1月19日	・第7回就職ガイダンス「就活直前対策」(WEB)	学生350人	(97)
7月14日	・就職支援講座Ⅰ「グループワーク実践」(WEB)	学生 775人	(-)
8月11日	・就職支援講座Ⅱ「就活マナー実践」(WEB)	学生 1042人	(96)
10月20日	・就職支援講座Ⅲ「インターンシップ振り返り講座」	学生 39人	(53)
1月19日	・就職支援講座Ⅳ「Web面接対策」(WEB)	学生 65人	(78)
2月14～16日	・就職支援講座Ⅴ「模擬面接」(3日間)(WEB)	学生 67人	(47)
6月2日	・就活応援講座Ⅰ「就活見直し講座」	学生 30人	(19)
6月16日	・就活応援講座Ⅱ「公務員・教員受験者向け集団討論対策」	学生 10人	(23)
11月24日	・個別進路相談会	学生4人	(4)
年間参加者数累計：対面開催 244人(前年度342人) web開催 6971人(前年度 4408人)			
【企業セミナー等】			
4月～3月	・学内における個別企業説明会(随時)(※3年・院1年対象の説明会は3月以降)	企業96社 学生119人	(62) (87)
6月12日	・南九州国立大学合同Webインターンシップ紹介会	企業9社 学生19人	(-) (-)
6月23日	・インターンシップWeb合同企業説明会(Live視聴+録画視聴)	企業32社 学生1028人	(16) (361)
6月30日	・県内企業による学内合同企業説明会(ブース形式)	企業 20社 学生 28人	(20) (20)
7月	・西日本地区等国公立大学学生限定 WEB合同企業説明会(6回開催)	企業 104社 学生 33人	(46) (66)
10月～3月	・業界・職種研究セミナー(随時)	企業 37社 学生227人	(18) (176)
11月10日	・中小企業の魅力発見講座「社長と語ろう」	企業6社 学生 34人	(6) (24)
12月4日	・卒業生による就職・キャリア支援セミナー(WEB)	回数 2回	(2)
2月15日	・南九州国立大学合同 Web合同業界研究会(3回開催)	学生 112人	(116)
12月～2月	・南九州国立大学合同 Web合同業界研究会(3回開催)	企業92社	(98)
12月25日	・Web業界研究フェア(県内企業対象)※官公庁も一部参加(Live視聴+録画視聴)	学生118人 企業51社	(293) (51)
3月7日～8日	・学内個別企業セミナー・フェア(講義形式・2日間)	学生762人 企業 60社	(1114) (52)
3月15日～17日	・西日本地区等国公立大学生限定Web合同企業説明会	学生223人 企業 78社	(324) (78)
	参加企業数累計	学生10人	(30)
	参加学生数累計	585社	(447)
		2713人	(2611)
【公務員・教員 関係】			
5月～4月	・公務員採用試験対策講座(大学生協)	学生238人	(238)
12月～6月	・教員採用試験対策講座(大学生協)	学生 18人	(21)
【キャリア教育・就職情報冊子】			
4月～8月	・「キャリアデザイン」前期・後期	学生430人	(449)
10月～2月	・「社会人基礎力演習」後期	学生22人	(19)
6月上旬	・学生向け就職冊子「就職支援ガイドブック」発行	配付及びHPへ掲載	
2月上旬	・企業向け就職関係冊子「求人のための大学紹介」発行	企業1155社	(1160)
3月下旬	・キャリア形成支援センターリーフレット発行		
毎月1日	・学生向け就職情報「キャリア形成支援センターから」発行		
【就職委員会・その他】			
○キャリア形成支援委員会 (第1回:6月・第2回:7月・第3回:10月・第4回:1月・第5回:3月)			
○企業来室対応(求人・会社PR・情報収集等)		企業300社	(293)
【就職個別相談】 R4.3月末現在			
○就職相談員(原則 月・水・金の午後):806人(779) / ○センター職員(随時):72人(49)			
○ハローワーク鹿児島 就職支援ナビゲーター(原則 火・木 10:30～16:30):1014人(625)			

表2

令和3年度 各学部の就職相談状況(就職相談員・キャリア形成支援課職員)

年月	相談員勤務日数	学 部														合計		R2年度
		法文		教育		理		医・歯		工		農・共同獣医		水産		就職相談員	キャリア形成支援センター職員	
		就職相談員	キャリア形成支援センター職員	就職相談員	キャリア形成支援センター職員	就職相談員	キャリア形成支援センター職員	就職相談員	キャリア形成支援センター職員	就職相談員	キャリア形成支援センター職員	就職相談員	キャリア形成支援センター職員	就職相談員	キャリア形成支援センター職員			
4月	16	37 (23)		3 (3)		22 (14)		0 (0)		21 (4)	1 (0)	26 (10)		7 (4)	1 (1)	116 (58)	2 (1)	114
5月	14	49 (22)	3 (3)	6 (6)		12 (10)		4 (4)		16 (4)	2 (0)	15 (4)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	102 (50)	11 (9)	79
6月	15	37 (13)	2 (2)	12 (4)		10 (7)	2 (1)	10 (10)		10 (2)	1 (0)	28 (14)	2 (2)	8 (0)		115 (50)	7 (5)	119
7月	7	16 (7)	4 (3)	3 (0)		3 (1)		2 (2)	2 (2)	3 (1)	1 (0)	22 (13)	5 (3)	2 (0)		51 (24)	12 (8)	95
8月	6	8 (5)	6 (4)	3 (0)		5 (2)	4 (1)	2 (2)		0 (0)		3 (1)	3 (3)	1 (0)		22 (10)	13 (8)	53
9月	4	7 (6)	6 (4)	2 (0)		2 (1)	4 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (2)		0 (0)	1 (1)	15 (10)	13 (7)	26
10月	4	3 (7)	1 (1)	1 (0)		3 (1)	1 (0)	0 (0)		1 (1)		2 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	17 (11)	4 (2)	22
11月	4	7 (5)	1 (0)	2 (1)	1 (0)	5 (1)		1 (1)		2 (0)		5 (2)		1 (1)		23 (11)	2 (0)	18
12月	9	17 (8)		2 (1)		13 (4)	1 (0)	0 (0)		1 (0)	1 (0)	15 (8)	1 (0)	4 (3)		52 (24)	3 (0)	42
R4年1月	11	35 (16)		1 (0)		17 (4)	1 (0)	0 (0)		2 (1)		22 (12)	1 (1)	5 (0)	1 (0)	82 (33)	3 (1)	45
2月	13	18 (5)		8 (5)		18 (10)		0 (0)		5 (1)		30 (19)		4 (0)		83 (40)	0 (0)	95
3月	17	46 (30)	1 (1)	8 (4)	1 (1)	10 (5)		0 (0)		24 (1)		29 (19)		11 (4)		128 (63)	2 (2)	120
年度計 120日		286 (147)	24 (18)	51 (24)	2 (1)	120 (60)	13 (3)	20 (20)	3 (3)	86 (15)	7 (0)	199 (106)	18 (14)	44 (12)	5 (4)	806 (384)	72 (43)	828
学部別相談者合計		310 (165)		53 (25)		133 (63)		23 (23)		93 (15)		217 (120)		49 (16)		878 (427)		
学 部 割 合		35.3%		6.0%		15.1%		2.6%		10.6%		24.7%		5.6%		100%		

(注1) ()内の数字は女子(内数)を示す。また学部割合の%は全学部の相談者合計に対する割合を示す。

※R2年度同時期累計 828件

(注2) 既卒者、大学院生を含む。

(注3) 8/23～10/8 Webによる遠隔相談を実施(就職相談員)

(注4) 1/12～ Webによる遠隔相談を実施(就職相談員)

令和3年度 就職支援ナビゲーターによる就職相談状況 (令和3年4月～令和4年3月)

	キャリア形成支援センターにおける相談状況 (毎週火・木曜 10時30分～12時、13時～17時)									令和 二 年 度
	法文	教育	理	医・歯	工	農 共同獣医	水産	小計		
4月	40 (33)	7 (7)	9 (3)	1 (1)	8 (1)	27 (14)	13 (7)	105 (66)	51	
5月	35 (26)	10 (9)	13 (6)	1 (1)	4 (2)	16 (13)	8 (3)	87 (60)	27	
6月	50 (40)	12 (8)	19 (11)	6 (5)	14 (2)	23 (15)	4 (3)	128 (84)	70	
7月	44 (31)	13 (8)	14 (4)	15 (15)	22 (7)	27 (21)	8 (6)	143 (92)	75	
8月	14 (8)	1 (1)	6 (3)	3 (3)	7 (1)	13 (6)	4 (1)	48 (23)	63	
9月	12 (12)	0 (0)	16 (5)	6 (6)	8 (0)	10 (10)	4 (1)	56 (34)	53	
10月	23 (18)	6 (3)	10 (2)	5 (4)	4 (0)	5 (3)	2 (1)	55 (31)	56	
11月	13 (11)	0 (0)	9 (2)	2 (2)	15 (1)	8 (7)	6 (4)	53 (27)	25	
12月	18 (11)	0 (0)	5 (2)	0 (0)	13 (4)	8 (6)	5 (0)	49 (23)	37	
令和4年1月	22 (19)	2 (2)	11 (4)	0 (0)	17 (8)	11 (8)	12 (5)	75 (46)	48	
2月	30 (23)	4 (4)	11 (6)	1 (1)	19 (5)	18 (11)	10 (4)	93 (54)	37	
3月	41 (34)	5 (2)	16 (3)	0 (0)	22 (6)	23 (21)	15 (4)	122 (70)	83	
R3年度計	342 (266)	60 (44)	139 (51)	40 (38)	153 (37)	189 (135)	91 (39)	1014 (610)	625	

令和2年度同時期の累計:625件

(注1) ()内の数字は女子(内数)を示す。

(注2) 既卒者、大学院生を含む。

(注3) 平成28年度から学部での就職相談は中止/平成30年度以降の相談日は週2日(平成29年度までは週3日以上)

表3

2022年3月卒対象求人件数

2022年3月末現在

年月	国家・地方公務員、独立行政法人			左記以外				合計		
	県内	県外	小計	キャリア形成支援課		ハローワーク			小計	
				県内	県外	県内	県外			
2021年3月	2	48	50	69	495	0	0	564	614	
4月	3	77	80	39	135	13	10	197	277	※既卒者対象求人1件を除く
5月	13	75	88	25	70	4	6	105	193	※既卒者対象求人1件を除く
6月	4	25	29	51	82	0	0	133	162	※既卒者対象求人1件を除く
7月	21	36	57	30	48	1	0	79	136	※既卒者対象求人1件を除く
8月	3	33	36	27	37	7	22	93	129	
9月	2	15	17	22	46	6	14	88	105	※既卒者対象求人1件を除く
10月	0	8	8	17	41	4	2	64	72	
11月	6	15	21	13	20	3	17	53	74	
12月	3	9	12	6	18	6	16	46	58	
2022年1月	0	11	11	9	12	1	11	33	44	※既卒者対象求人1件を除く
2月	1	3	4	1	7	0	4	12	16	
3月	0	11	11	30	120	3	2	155	166	※既卒者対象求人2件を除く
合計	58	366	424	339	1131	48	104	1622	2046	
(2021年 3月卒対象)	51	391	442	379	1285	6	0	1670	2112	

3. インターンシップ

(1) インターンシップ窓口対応状況

学内のインターンシップ取扱い窓口を一本化し、学生への情報提供や事前の相談体制を整備するためキャリア形成支援センターに設置された「インターンシップ窓口」の令和3年度の年間利用学生数は延べ1,437人となり、前年度から300人以上増加した（表4）。

窓口経由でインターンシップにエントリーした学生数^(※)も同様に増加しており、前年度の342名から142人増の484人となった（表5）。

(※) インターンシップ窓口経由、課題解決型インターンシップ、SKYCAMPのエントリー者数の合計

表4

【学部・研究科別(学部)】

月	法学部		教育学部		理学部		医・歯学部		工学部		農学部		共同獣医学部		水産学部		学部生小計		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
4月	12	11	2	2	4	3	0	0	5	0	8	5	0	0	2	0	33	21	
5月	112	85	8	7	24	21	0	0	33	11	48	35	0	0	16	6	241	165	
6月	196	145	10	8	12	6	2	2	32	4	79	44	0	0	11	6	342	215	
7月	181	137	11	10	7	6	1	1	33	2	56	35	0	0	15	5	304	196	
8月	21	16	3	2	0	0	0	0	10	9	12	9	0	0	0	0	46	36	
9月	38	30	1	1	0	0	0	0	11	2	5	1	2	2	1	0	58	36	
10月	66	38	11	6	16	2	13	12	45	8	33	22	0	0	4	2	188	90	
11月	14	4	6	2	9	0	0	0	17	1	6	3	0	0	2	2	54	12	
12月	9	3	1	1	4	1	0	0	1	1	3	1	1	1	1	1	20	9	
1月	9	6	0	0	4	1	0	0	8	0	2	1	1	1	0	0	21	8	
2月	8	6	0	0	3	1	0	0	4	0	5	2	0	0	0	0	20	9	
3月	8	5	0	0	3	0	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0	16	6	
累計	674	486	53	39	83	40	16	15	200	38	261	159	4	4	52	22	1,343	803	
前年度同月累計																			

【学部・研究科別(研究科)】

月	人文社会科学		臨床心理学		教育学		理工学(理)		理工学(工)		農林水産学(農)		農林水産学(水)		共同獣医学		医歯学		他		大学院生小計		合計					
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子				
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	36	21			
5月	0	0	1	1	0	0	6	4	15	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	11	266	176			
6月	0	0	0	0	0	0	6	1	4	0	6	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	7	359	222			
7月	0	0	3	3	0	0	2	0	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5	314	201			
8月	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	52	38			
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	60	37			
10月	1	1	0	0	0	0	4	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	9	3	197	93			
11月	1	1	0	0	0	0	6	2	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	3	68	15			
12月	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	22	9			
1月	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	23	8			
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	9		
3月	0	0	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	20	7			
累計	2	2	4	4	0	0	32	8	37	4	15	14	4	1	0	0	0	0	0	0	0	94	33	1,437	836			
前年度同月累計																											1,100	701

【学年別】

月	1年		2年		3年		4年		5年		6年		M1		M2		既卒		左記以外		合計		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
4月	3	3	4	4	11	9	15	5	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	36	21
5月	8	6	12	10	212	144	9	5	0	0	0	0	24	11	1	0	0	0	0	0	0	266	176
6月	19	11	23	19	291	182	9	3	0	0	0	0	15	7	2	0	0	0	0	0	0	359	222
7月	19	12	21	15	256	162	8	7	0	0	0	0	10	5	0	0	0	0	0	0	0	314	201
8月	0	0	12	12	28	20	6	4	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	52	38
9月	3	2	1	1	51	31	1	0	2	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	60	37
10月	100	58	12	7	66	24	10	1	0	0	0	0	9	3	0	0	0	0	0	0	0	197	93
11月	12	3	0	0	37	8	5	1	0	0	0	0	12	3	2	0	0	0	0	0	0	68	15
12月	2	2	3	2	12	4	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	22	9
1月	0	0	2	2	18	6	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	23	8
2月	2	1	6	1	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	9
3月	0	0	3	2	12	4	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	20	7
累計	168	98	99	75	1,005	600	69	28	2	2	0	0	86	33	8	0	0	0	0	0	0	1,437	836
前年度同月累計	51	48	36	11	904	594	43	25	0	0	0	0	59	20	4	2	2	2	0	1	1	1,100	701

女子の欄は内数

表5

キャリア形成支援センター経由インターンシップ参加学生数（全体）

(A)エントリー数=(a)+(b)+(c)+(d)

インターンシップ種別	H30	H31(R1)	R2		R3							備考	
			エントリー数	受入数	(A)エントリー数	(a)受入決定数	中止者数	参加者数	(b)受入決定前の中止	(c)受入不可	(d)辞退		
キャンパスウェブ	17	19	4	4									R2で終了
インターンシップ窓口経由			283	134	378	226	131	95	128	20	4		378名中61名は、鹿児島市役所(59名)と門司堤防(2名)の夏季中止代替措置再開への応募者
課題解決型インターンシップ （「かごしま課題解決型インターンシップ」および「地域キャリア・インターンシップ」）	25	30	20	20	63	62	11	51			1		
SKYCAMP			35	7	43	8	0	8	0	35	0		
合計			342	165	484	296	142	154	128	55	5		

(2) 課題解決型インターンシップ

キャリア形成支援センターが企画・実施する「課題解決型インターンシップ」は、前述の「かごしまキャリア教育プログラム」の共通教育科目「地域キャリア・インターンシップ」と、自己成長のため学生が正課外活動として参加する「かごしま課題解決型インターンシップ」の総称であり、「課題解決型学習（PBL）」の手法を取り入れたインターンシップ・プログラムである（図1）。

学生は10日間の就業体験と並行し、受入先ごとに提示される課題（テーマ）の解決に向けて、学生目線でアイデアを検討・提案する。通常の就業体験に留まらず、受入先企業や地域の特徴・課題に関する調査分析、分析に基づく改善案や新規企画の検討、役員への提案（および実行）といった課題解決プロセスを体験することで、学生の社会人基礎力を涵養するとともに、地域社会への理解の深化や県内就職率の向上に寄与することを目的としている。

本インターンシップは、鹿児島商工会議所の協力のもと、鹿児島県内に本社を置く企業や県内の自治体からプログラム提供を受けて実施しており、キャリア形成支援センターは受入を希望する企業・自治体等に対する説明会や、プログラム構築支援、受入先と学生のマッチング、学生に対する事前指導・事後指導、成果報告会の企画・運営等を行っている。また、「第4回学生が選ぶインターンシップアワード2021」において「文部科学大臣賞」を受賞するなど、全国的にも高い評価を得ている。

令和3年度は、29事業所から31プログラムが提供され、51人（「地域キャリア・インターンシップ」の履修者5人、「かごしま課題解決型インターンシップ」参加者46人）の学生が参加した（前年度参加者数：20人）。参加学生は、キャリア形成支援センターのインターンシップ担当教職員による事前・事後指導及び成果報告会を含め、約8カ月の長期に渡るプログラムに挑んだ。

（図1）課題解決型インターンシップのイメージ



コロナ禍での長期プログラムを遂行する上で、学生と受入先が共に不安なく、明確な参加目的のもと充実した実習となるよう、約40ページに渡るガイドブックを作成し、事前指導等において学生に提供している。また、令和3年度より、学生に対する教育だけでなく、受入先となる企業・自治体への支援にも注力することを企図し、「受入先向けプログラムデザインセミナー」や「受入先向け振り返りワークショップ」を新たに企画・実施した。

学生に対する事後アンケート（n=44）の結果、「本インターンシップ全体を通じて満足している」と回答した学生は94%にのぼった。自由記述では、「自分が将来どんな職業に就きたいのかについてのイメージを持つことができた」、「10日間という日程のインターンシップは鹿児島にはそれほどないので一度は参加するべきだと思います」、「あっという間の10日間でした」、「参加するか迷ったら、積極的に参加した方が良い!」、「社会人になるのが不安な人ほど参加すると良い経験になる」といった肯定的なコメントが多く見受けられた（原文より一部抜粋）。



(3) 地域密着型パイロット人材創出プログラム（SKYCAMP プログラム）

学生に多様なキャリアの可能性を提供すると同時に、鹿児島に根差したパイロットを輩出し、ひいては地域社会の発展に貢献することを目的に、令和2年10月5日に本学と日本航空(株)（以下JAL）、日本エアコミューター(株)（以下JAC）が締結した連携協力協定に基づき、令和2年度からスタートしたものである。操縦飛行体験SKYCAMPプログラムに参加した1期生のうちJACの条件付内定者となった2人（工学部1人、理工学研究科1人）は、崇城大学の研究生としての入学が決定し、令和4年4月より約2年間かけて、エアラインパイロットに必要なライセンス取得を目指すことになった。

2期目となる令和3年度は、9月29日、10月8日の計2回、JAC、JALより現役パイロットを招いて開催したSKYCAMPのオンライン説明会に、計84人の学生が参加した。また同日開催した女子学生向けトークセッションは、女子学生の多様なキャリア選択の機会を創出する目的で企画し、女性パイロットや客室乗務員、地上職の社員と7人の女子学生が交流した。その後、対象学年となる学部3年生、修士1年生の応募者43人の中から選ばれた8人（法文学部3人うち女子学生2人、理学部1人、工学部3人、理工学研究科1人）が、2期生として令和4年2月21日～3月4日までの計11日間、操縦飛行体験SKYCAMPプログラムに参加することになった。JACの協力により実施したSKYCAMPでは、鹿児島空港に隣接するフライトトレーニングセンターで、座学やフライトシミュレーターによる操縦訓練、JAC便のコックピット同乗、実際の飛行機の操縦等、様々な体験を経て、参加者全員が修了証を手にした。修了者の中から本学が推薦した2人（理学部1人、理工学研究科1人）の学生がJACの条件付内定者として決定しており、1期生と同様、卒業・修了後に崇城大学でパイロットライセンス取得訓練を受ける予定である。



4. 大学コンソーシアム鹿児島「地域連携就業・部会」

令和3年度は、メール会議やオンライン方式で地域連携・就業部会を2回、高等教育機関部会委員によるワーキングを3回開催し、後述の2つの事業を企画・運営した。

また、県内で実施するインターンシップの推進を図るため、各大学が独自に実施するインターンシップに関する情報共有や意見交換の場として本部会を活用することを決定した。

(1) 進学・就職応援フェア みらいワーク“かごしま”

令和3年12月12日、若年者の県内定着を促進するためのイベント「進学・就職応援フェア みらいワーク“かごしま”」を鹿児島県等と共催した。参加者は942人、出展ブース数は88（仕事・学習体験46ブース、進学・就職相談42ブース）であった。

(2) 地元企業よかところ発見！見学ツアー

令和4年2月～3月にかけて、本部会の令和3年度主催事業として「地元企業よかところ発見！見学ツアー」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、1件のツアーが中止となったが、最終的にオンラインツアー2コース、バスツアー1コースを実施し、計31人が参加した。参加学生を対象に事後アンケートを実施した（n=17）結果、「地元企業への興味や関心の変化」に関する設問には、64.7%の学生が「興味や関心が出てきた」と回答し、17.6%の学生が「もともと関心があった」と回答した。また、全体の満足度についての設問について、「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した学生は計100%であった。